

2025年採用技術系学校推薦申請・応募希望者各位

(写) 理工学部・理工学研究科・応用データサイエンス学位プログラム所属教員各位

## 技術系学校推薦：申請・応募手続きについて（2025年採用）

上智大学キャリアセンター

### 1. 技術系学校推薦の概要

#### (1) 基本ルール

- ・学校推薦とは、大学と企業間の信頼関係に基づく制度。  
大学長が、学生が「第一志望」とする企業に学生を「推薦」する。  
大学と企業との間には、信義則上の約束ごとが発生することになり、**学校推薦で選考に応募すると、いかなる理由があっても「応募中止」、「選考途中辞退」、「内定辞退」は一切できない。**
- ・学校推薦応募と自由応募を併願することは可能。ただし、**学校推薦応募で内定したときは、他社の選考を中止し、就職活動を終了しなければならない。**
- ・学校推薦希望者は、「学校推薦申請書」を提出のうえ研究指導教員／就職担当教員（\*兩名または1名。学科・領域・プログラムにより異なる）との「**学校推薦申請面談（対面／オンライン）**」を行う必要がある。**面談を行って学校推薦申請の承認を得た後に、学校推薦応募ができる。**
- ・**学校推薦で一度に応募できる企業は、1社のみ。**  
「学校推薦申請面談」で応募先企業への学校推薦申請が承認されなかった場合／学校推薦応募を行ったが選考に不合格だった場合、改めて他社への学校推薦申請・応募を行うことは可能。

#### (i) 学校推薦を申請できる者

- ・2025年3月／2024年9月卒業・修了予定の本学理工学部・理工学研究科生、応用データサイエンス学位プログラム生で、**「進路希望入力（\*後述）」を完了しており**、基本ルールを理解したうえで応募先企業を第一志望とする者

#### (ii) 学校推薦を申請できない者

以下の者は、学校推薦を申請することはできない。

- ・応募先企業が第一志望でない者
- ・卒業／修了見込のない者
- ・求人票／募集要項で指定されている学部・学科／研究科・専攻・領域／プログラムに所属していない者（\*企業に確認の結果、応募可との回答を得た場合は申請可能）
- ・大学院への進学を希望する者

#### (2) 求人の閲覧方法

大学に届いた学校推薦求人票・募集要項は、「WEB キャリアセンター> 理系技術職> 技術系学校推薦・求人票について」から閲覧できる。**公開予定日：2024年1月30日（火）**

\*「WEB キャリアセンター」へのアクセス方法：「Loyola>就職・キャリア支援>web キャリアセンターはこちら」より。

**\*求人票・募集要項の到着・公開時期は、企業によって異なる。**

\*求人票・募集要項は、企業から直接「キャリアセンターシステム（<https://uc-student.jp/sophia/>）」にオンラインで掲出されることもある。そちらについても基本ルールは同様。

## 2. 申請・応募の流れ、手順 (\*別紙【フロー図】参照)

### (1) 申請・応募の流れ

手順	手順対応者
① 「進路希望入力」の完了	応募希望者
② 「学校推薦申請面談」の申し込み	応募希望者
③ 「学校推薦申請面談」日時の確定・返信	研究指導教員／就職担当教員
④ 「学校推薦申請面談」の実施	応募希望者 研究指導教員／就職担当教員
⑤ 応募希望者への「学校推薦申請承認メール」の送信、「申請状況管理表(2025年採用)」への入力	研究指導教員／就職担当教員
⑥ 「学校推薦申請承認メール」の受信確認	応募希望者
⑦ プリントした「学校推薦申請書」、応募先企業の「求人票／募集要項」及び「学校推薦申請承認メール」の提出 <b>受付開始日：2024年3月15日(金)</b>	応募希望者
⑧ 学校推薦状(発行日：6月1日)の手配・応募希望者への交付	キャリアセンター
⑨ 応募先企業への「学校推薦状」の提出(または学校推薦申請・応募意思の報告)	応募希望者 ／(応募先企業によっては)キャリアセンター
⑩ 応募先企業の選考を受験	応募希望者
⑪ 合否結果の受領後、「学校推薦合否報告」の提出	応募希望者

\*応募先企業によっては、①の前に⑩、⑧の前に「⑨：学校推薦申請・応募意思の報告」と⑩という手順になることがある(「中付け推薦」、「後付け推薦」の場合等)。

### 【手順詳細】

#### ① 「進路希望入力」の完了 ■期限：②の前までに■

「キャリアセンターシステム( <https://uc-student.jp/sophia/> )」にログインして入力する。  
初ログイン者：「進路希望」から／2回目以降ログイン者：「マイページ>進路希望の確認・変更」から入力。

#### ② 「学校推薦申請面談」の申し込み ■申込受付開始日：学科・領域・プログラムにより異なる■

応募希望者は、所属学科／領域／プログラムの**研究指導教員及び就職担当教員**に以下の要領でメールを送信して「学校推薦申請面談」の申し込みを行う。メールには、(i)「学校推薦申請書」、(ii) 応募先企業の「求人票／募集要項」を添付する。

- ・**発信メールアドレス**：大学が付与している [eagle.sophia.ac.jp](mailto:eagle.sophia.ac.jp) のアドレスから**発信**すること。
- ・**メール宛先**：研究指導教員**及び**就職担当教員 \*学部生は、2024年3月末までは就職担当教員にのみ送信。
- ・**メール件名**：「1. 学校推薦申請書提出、2. 面談の申し込み[学生番号・氏名]」
- ・**添付物**：(1)「**学校推薦申請書** (\*ファイル名：「学校推薦申請書 [学生番号・氏名]」とする)」、(2) **応募先企業の「求人票／募集要項」** (\*「WEB キャリアセンター」または「キャリアセンターシステム」からダウンロード。ファイル名：「求人票等 [学生番号・氏名]」とする) **\*いずれも PDF ファイル形式で添付**

・メール本文：「(1) 希望する面談日程・時間帯 (3つ以上)、(2) 希望する面談形式」を記入。

\* 希望する面談日程・時間帯は、できる限り幅広く、余裕をもって記入すること。

\* 希望する面談形式は、「対面/オンライン両方可」、「対面希望」、「オンライン希望」のいずれかを記入。

(※)・「学校推薦申請書」と「就職担当教員 (含、キャリアセンター・技術系学校推薦担当者) の氏名およびメールアドレス」は、「WEB キャリアセンター > 理系技術職 > 技術系学校推薦・求人票について」からダウンロード。

### ③ 「学校推薦申請面談」日時の確定・返信

研究指導教員/就職担当教員は、(i)「学校推薦申請書」、(ii)応募先企業の「求人票/募集要項」の受信を確認。「学校推薦申請面談」の日時を確定のうえ、応募希望者に返信する。

\*②では両教員にメールを送信するが、面談を行うのは1名または両名。学科・領域・プログラムにより異なる。

### ④ 「学校推薦申請面談」の実施

応募希望者と研究指導教員/就職担当教員が、「学校推薦申請書」と応募先企業の「求人票/募集要項」をもとに、対面またはオンラインで面談を行う。

**学校推薦申請が承認された後は、「応募中止」、「選考途中辞退」、「内定辞退」は一切できない。**

\* 学校推薦申請が承認されなかった場合：改めて他社への学校推薦申請・応募を行うことは可能。

### ⑤ 応募希望者への「学校推薦申請承認メール」の送信、「申請状況管理表 (2025年採用)」への入力

研究指導教員/就職担当教員が、学校推薦申請を承認した応募希望者に「学校推薦申請承認メール」を送信する。併せて、「申請状況管理表 (2025年採用) .xlsx」に申請承認日等を入力する

(\*「申請状況管理表 (2025年採用)」は、教員・職員のみ使用)。

### ⑥ 「学校推薦申請承認メール」の受信確認

応募希望者は、「学校推薦申請承認メール」の受信を確認する。

### ⑦ プリントした「学校推薦申請書」、応募先企業の「求人票/募集要項」及び「学校推薦申請承認メール」の提出 (提出先：キャリアセンター受付窓口) ■受付開始日：2024年3月15日(金) ■

応募希望者は、②で提出した「学校推薦申請書」と応募先企業の「求人票/募集要項」、及び「学校推薦申請承認メール」をプリントし、各1部を2号館1階キャリアセンター受付窓口に提出する(受付時間：月～金 10:00～11:30、12:30～16:30、除、キャリアセンター閉室日)。

**【重要】学校推薦申請・応募手続き(学内)は、この提出をもって完了とする。未提出者には「学校推薦状」を交付しないため注意。**

### ⑧ 学校推薦状(発行日：6月1日)の手配・応募希望者への交付

「学校推薦状」は6月1日付で発行し、学長公印を押印した原本を、同日以降に応募先企業に提出できるようキャリアセンター受付窓口で交付する(\*学生証の持参要。交付時期はLoyola等で告知)。

### ⑨ 応募先企業への「学校推薦状」の提出(または学校推薦申請・応募意思の報告)

**企業への「学校推薦状」の提出は、各自で行うこと。**キャリアセンターからの提出は行わない。

なお、応募先企業の選考スケジュールによっては、「学校推薦状」の提出に先立ち、学校推薦申請・応募意思の確認をされたり、報告を求められたりすることがある。それらについても各自で対応すること(\*求人票/募集要項等で大学での取りまとめを求められている場合は、キャリアセンター

にて対応する)。

### 【応募先企業から6月より前に推薦状の提出を求められた場合】

大学公式ホームページ「企業の採用ご担当者様へのご案内」>「推薦状の発行について」(以下 URL) を案内し、本学では学校推薦状は6月1日以降に発行しており、5月以前は発行しない(=提出は6月1日以降になる)旨をお伝えすること。

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/campuslife/career/kyujin/>

## ⑩ 応募先企業の選考を受験

応募希望者は、応募先企業の求人票／募集要項及び指示に従って選考を受験する。

**\* 応募先企業へのエントリー手続きも必ず自身で行うこと。**

## ⑪ 合否結果の受領後、「学校推薦合否報告」の提出

応募先企業から合否結果の連絡を受けたら、合否に関わらず速やかに「**学校推薦合否報告**」(\*)をメール添付(PDFファイル形式)により提出し、必ず大学に報告する。

- ・ **発信メールアドレス**：大学が付与している **eagle.sophia.ac.jp** のアドレスから発信すること。
- ・ **メール宛先**：研究指導教員 **及び** 就職担当教員
- ・ **メール CC**：キャリアセンター技術系学校推薦担当 (アドレス：rikoucareer-co@sophia.ac.jp)
- ・ **メール件名**：「学校推薦合否報告 [学生番号・氏名]」

(※)・「学校推薦合否報告」は、「WEB キャリアセンター > 理系技術職 > 技術系学校推薦・求人票について」からダウンロード。

**【注意】**「学校推薦申請面談」で応募先企業への学校推薦申請が承認されなかった場合／学校推薦応募を行ったが選考結果が不合格だった場合に、他社への学校推薦申請・応募を新たに希望するときは、**「合否報告」の提出を終えていないと「学校推薦申請書」を受け付けることができない。**

## (2) 学校推薦申請の期限

申請期限は、一律には設けていない。求人票／募集要項に記された応募締切日・選考日程や応募先企業からの指示等を各自で必ず確認すること。

## (3) 企業から学校推薦申請・応募の意思を求められる時期

企業から学校推薦申請・応募の意思を求められる時期は、次の3つに大別される。

- A) エントリー時：企業は、エントリーの時点で応募者が大学に学校推薦申請書を提出し、学校推薦申請の承認を得ていることを確認したうえで選考を開始する。
- B) 選考途中：企業は、選考フローのある段階で、応募者が大学に学校推薦申請書を提出し、学校推薦申請の承認を得ていることを確認したうえで最終選考の機会を与える。  
※企業によっては、併せてエントリー時に学校推薦申請・応募の意思を応募者に確認する場合もある。
- C) 最終選考合格後：企業は、最終選考に合格した段階で、応募者が大学に学校推薦申請書を提出し、学校推薦申請の承認を得ていることを確認したうえで内定を出す。  
※企業によっては、併せてエントリー時に学校推薦申請・応募の意思を応募者に確認する場合もある。

\*一般的に、「A」=先付け推薦、「B」=中付け推薦、「C」=後付け推薦」と言う。B)とC)を併せて「後付け推薦」と言うこともある。

応募にあたっては、求人票／募集要項の記載事項をよく読み、説明会等で選考プロセスや企業からの指示を確認して臨むこと。

#### (4) 「B」=中付け推薦、「C」=後付け推薦 の場合の要確認事項

中付け推薦、後付け推薦の場合は、大学に求人票／募集要項が届いていないことがある。その際は、各自で応募先企業の採用担当部署に連絡して(i)求人票／募集要項と、(ii)学校推薦状に記載する宛名(\*人事部長、採用ご担当者等。個人宛の場合はその方の氏名及び役職名)を入手すること。入手した後に、上記「(1)申請・応募の流れ」>手順②に進むことができる

(\* (ii)については、手順⑦で他の提出物と一緒にキャリアセンターに提出すること)。

#### (5) 学校推薦応募枠の充足状況の確認について

学校推薦応募の期限が過ぎた後や期限が明記されていない学校推薦求人への応募可否を知りたい場合は、**各自で企業の採用担当部門に直接問い合わせて確認すること**。応募可能であることの確認が取れた場合のみ、学校推薦申請を行うことができる(\*企業の担当者名・連絡先、確認した日時を控えておくこと)。

### 3. 注意事項

#### (1) 学校推薦応募の利点と欠点

学校推薦応募にあたっては、選考日程や方法、合否状況のみによる安易な選択は避け、以下の利点と欠点、応募先企業の業種や職種、自身の適性やキャリアプランも含めて慎重に検討すること。

##### 【利点】

学校推薦応募には、自由応募と比較して、①内定率が高めになる傾向がある、②書類選考、筆記試験や面接試験などの選考ステップが少なくなることが多い、③選考日程および合否結果の通知が早い、という利点がある。

##### 【欠点】

学校推薦応募は自由応募との併願で行えるが、学校推薦応募では応募先企業の内定を辞退しないことを誓約しているため、たとえ自由応募で内定した企業に自身の適性があると感じたとしてもそちらは断らなくてはならない。そのため、企業選択の幅が自由応募よりも狭くなる面がある。

#### (2) 学校推薦の間違った認識

企業の採用選考の学校推薦は、**大学入学試験の指定校学校推薦とは違い、内定枠が確保されているわけではない。内定者数を保証するものでもない。学校推薦は自由応募と比較して内定率が高めだから選考が楽だと思ふのは大きな間違い。**

企業が求める人材要件や技術職に必要な基礎能力を満たしていないとみなされれば、学校推薦であっても選考に通過することはできない。学校推薦を選択した場合でも、就職活動で取り組むべきことは自由応募と変わらない。業種・企業・職種研究、自己分析、エントリーシート、筆記試験、面接試験への対策は必須。

#### (3) 学校推薦応募と自由応募の併願について

**学校推薦の申請・応募は、応募先企業が第一志望であることが必須条件。**また、一度に応募できる企業は1社のみ。学校推薦応募と自由応募との併願は可能だが、自由応募で選考を行う企業の中には、選考の途中または最後に、応募者に学校推薦申請(「B」=中付け推薦、「C」=後付け推薦)の申請を行うよう指示し、**最終的に学校推薦応募に変更した者しか採用しないという方針の企業が含まれること**



**がある。**既に他社に学校推薦応募を行っている場合、当該企業を学校推薦応募に変更することはできないため注意すること。

#### (4) ジョブマッチング選考について

ジョブマッチング選考とは、入社前の採用選考の段階で、応募者が志望する職種や事業分野、事業所を選択して臨む選考のこと。企業（リクルーターや技術部門社員）は、応募者との面接を通じて、応募者の希望・適性および自社の採用方針・要件の双方を確認しながら、入社後の配属先を決定する。ジョブマッチング選考においては、志望する職種への理解と適性が問われる。特に、面接で適性を問われたときは、その根拠を論理的かつ具体的に示し、的確に理解してもらえるようにするための準備と工夫が重要。

#### (5) リクルーターについて

技術系採用では、リクルーターを活用する企業がある。リクルーターは本学卒業生とは限らない。リクルーターの役割は企業により異なるが、以下の2つに大別される。

- A) 採用に関して一定の権限を持ち、人事部による選考以前に、ある程度応募者の選抜や評価を行う。企業によっては、リクルーターとの面談の時点で合否を決定することもある。
- B) 採用選考に関する権限は持たず、事業分野や技術系職種の内容や特色、あるいは自己PRや志望動機など就職活動に関する質問や疑問に答えたり、助言を与えたりする。

#### (6) 社内に上智大学技術系OB・OG組織のある企業について

社内に上智大学技術系OB・OG組織のある企業については、所属するOB・OGから、学校推薦選考対策等に関するサポートを受けられることがある。OB・OG組織 and/or OB・OG個人の連絡先は、キャリアセンター内に設置の名簿ファイル「【学校推薦を含む】技術系OB・OG名簿」を参照。

\*技術系OB・OG組織のない企業も含めたOB・OG情報は、キャリアセンター内にある専用端末やOB・OG名簿で閲覧できる（キャリアセンター内でのみ閲覧可）。

---

### 【参考】主な企業の学校推薦合否状況（過去3カ年）

主な企業の過去3カ年の学校推薦合否状況は、「WEBキャリアセンター > 理系技術職 > 技術系学校推薦・求人票について」からダウンロードして参照。

「合否状況」には、企業が応募者に学校推薦申請・応募意思を確認する時期も関係している（\*「2. 申請・応募の流れ、手順」 > 「(3) 企業から学校推薦申請・応募の意思を求められる時期」参照）。**数値による単純比較は難しいことを十分に理解したうえで活用すること。**

以上

#### <技術系学校推薦に関する照会先>

キャリアセンター（2号館1階）

担当：中村・高智（こうち）

電話：03-3238-3581

メール：rikoucareer-co@sophia.ac.jp

（技術系学校推薦専用メールアドレス）